

しせつ 施設 伊豆の国市の施設紹介 施設へ行こうよ!

市内に点在する多くの公共施設。これらの施設を皆さんにもっと利用していただけるよう、このコーナーでは、市内にある公共施設を順次紹介していきます。

第9回 蛭ヶ島茶屋

かつて源頼朝が配流されたという蛭ヶ島小島。その公園の一角に、今年四月、『蛭ヶ島茶屋』が誕生しました。この新しい葦山史跡めぐりのオアシスに、あなたも一度立ち寄ってみませんか。

古き良き工法で

源頼朝・北条政子の『蛭ヶ島の夫婦』像に迎えられ、茶屋ののれんをくぐると、木のいい香りがしてきます。この建物は、柱や梁を丸太から加工し、天井が屋根そのままの『あらわし工法』や『くぎやかすがいを使わない』『込栓工法』など木造の良さを表現できる、昔ながらの工法を取り入れて建築されています。床面積約六十平方メートルほどの屋内は、席数四十人分。この日も、観光客や市民がくつろいでい



木の香りで気分が落ちつく、と好評の屋内

ました。冬はいろりに炭を入れるので、立ち寄った人も、気軽に暖をとれます。



雰囲気もよく、暖かいいろり

ちよつと一休み

茶屋の周辺は、江川邸や反射炉、願成就院に葦山城跡など、観光名所の宝庫。史跡を徒歩や自転車でもわったあとは、茶屋で一休みしましょう。もちろん、駐車場も完備しているので、車での越しもOK。茶屋にいるシルバー人材センターの女性達が、緑茶のサービス(無料)であなたの疲れをいやしてくれます。さらに、お腹がすいた人は、おしるこ、みそおでん、甘酒、おにぎり(各二百円)、ぶっかけそば(五百円)などの軽食メニューもどうぞ。また、土・日は、歴史ボランティアガイドの人もいるので、史跡や名所についての面白い話も聞けます。



見るだけでも楽しい竹細工

竹細工もいかが

屋内には、シルバー人材センター会員さん手作りの竹細工や、手芸品、お菓子なども売っています。竹細工は花器おひつ、しゃもじ、バタースプーンや小動物の置物など、いろんな種類があって、見る

だけで楽しくなります。おみやげにもきつと喜ばれるでしょう。一度ご覧ください。

蛭ヶ島茶屋

住所 四日町 17 1
 運営日 年末年始(12/29 ~ 1/3)を除く 9:00 ~ 16:00
 駐車場 普通 16台
 大型 2台(無料)
 問合せ 蛭ヶ島茶屋
 電話 055 949 5582

夏・冬によって運営時間の変更あり。団体(10人以上)での食事は要予約。



20人目

いずのくにの女

伊豆の国市内に住む、働く、または縁のある、輝いてる女性たち。今回は、平成19年1月7日に開催される伊豆の国市成人式の実行委員長、高梨なつ美さんを紹介しします。



高梨なつ美さん(葦山山木)

好きな食べ物はキッチンソーソー(四日町)の『チーズオムデミ』。趣味はネイルケア。好きな言葉は『仲間』。

「昔から、みんなで盛り上がるのが好きでした」というなつ美さんは、中学・高校の六年間、葦山町ジュニアリーダーズクラブに所属し、地域の子どものためのリーダーとして活躍してきました。「成人式実行委員会は、かつて姉や兄も参加し、その年の成人式を成功させてきました。それを見て、自分でもやりたいと思っていたし、周りの友達とも、『一緒にやろうね』と学生のころから決めていました。今年、葦山地区の実行委員会に集まった八人のメンバーは、そんな、中学校時代からの仲間たち。月三、四回ペースで集まっては、どうやったら面白い成人式にできるかと、熱い意見を交わしています。

「おカタい式典は、アクシスかつらぎの第一部に任せて、私たちが企画する葦山時代劇場の第二部は、面白おかしくしたい。テーマは『みんなが主役』になれる成人式。出席者全員が参加できるような企画を練っています。内容は…当日まで内緒です」と、最後まで教えてくれませんでした。伊豆長岡地区や大仁地区でも、同じように各中学校同窓生が実行委員会を結成しています。市の全体実行委員長を務めるなつ美さんは、「おかげで、葦山地区以外にも友達が増えました」とつこり。



認定エステティシヤンの資格を持つなつ美さん

で負うこと。社会や家庭で、今までは未成年だからと許されていたことも、許されなくなる」と、二十歳の重みをしつかり受け止めています。認定エステティシヤンの資格を持つなつ美さんの将来の夢は、「老若男女、誰もが癒されるお店を経営すること」。ぜひ市内に、すてきなお店を開いてもらいたいですね。最後になつ美さんから、今年成人式すべての仲間たちへ。「成人式では、中学卒業以来会っていないみんなに会えます。一回りも二回りも成長した友達、この時しか会えない先生たちに成長した自分を見せに行きましょう。また、各地区の新しい友達との出会いもあります。一生に一度のこのチャンス、迷わず参加してください」。

第2部は、伊豆長岡地区がアクシスかつらぎ、葦山地区が葦山時代劇場、大仁地区が大仁市民会館に分かれます。

広報

いずのくに

は毎月2回発行!

広報「いずのくに」は、毎月1日号と15日号を発行しています。

1日号は各自治会(区・組)を通じて配布し、15日号(タブロイド版)は新聞折り込みで皆さんにお届けしています。

広報紙がお手元に届かない場合は、各支所、公共施設(アクシスかつらぎ、めおと湯の館、図書館など)、農協や郵便局、金融機関などにありますので、ご利用ください。

問合せ 企画財政課 電話 055 948 1413